

法人本部

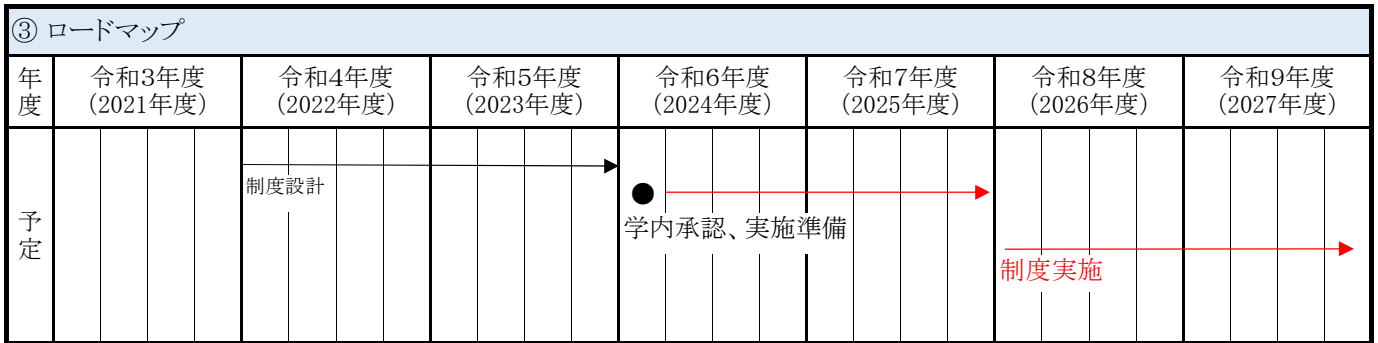
企画課管理用 管 ー E ー 1

推進主体	総務部総務課
責任者	総務部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	ー	E	危機管理体制の見直し	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容
キャンパス単位の災害対策マニュアルの統合・標準化等、法人全体として危機管理体制を見直す。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。
◇目白キャンパスにおける非常時体制の見直しによる法人・各学校の役割の一元化、明確化
◇各キャンパス消防計画及び各学校の災害対策要綱等の更新(キャンパス単位のマニュアルの統合・標準化)



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	各学校の災害対策要綱等の更新	更新率					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標	-	-	-	-	40%	60%	80%
実績	-	-	-				
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	目白キャンパスは、大規模事業所として消防計画を作成し、消防署へ届出を行っている。この「学校法人学習院目白キャンパス消防計画」は適宜更新を行っているものの、施行から10年が経過しているため、東京消防庁が示す最新の作成例を基に内容を精査し、目白キャンパスにおける非常時体制の見直しを行う。また、目白キャンパス消防計画とは別に作成している各学校(大学、中等科・高等科、幼稚園)の消防計画及びそれに付随する災害時マニュアルも併せて見直すことで、一貫性のある消防計画とする。	目白キャンパス及び各学校の消防計画の内容を確認した。今後、各学校にも協力を依頼する可能性がある旨、令和4年5月の防災連絡会議で周知した。令和4年度末～令和5年度にかけて、各学校における独自のマニュアルの策定状況など、情報提供を依頼する予定である。
令和5年度 (2023年度)	令和4年度に目白キャンパス消防計画の内容を確認した結果、必要に応じて計画(本院の危機管理体制そのものも含む)の修正案を作成する。各学校における独自のマニュアルの策定状況など、情報収集をし、各学校の計画と齟齬が生じないよう、一貫性のある内容とすることに留意し、適宜各学校にも計画の見直しを依頼する。	目白キャンパス消防計画に照らし、目白キャンパス内の各学校(高等科・中等科・幼稚園)の消防計画の内容を確認した。一部修正が必要となるため、年度内に依頼予定。また、各学校(高等科・中等科・幼稚園)では、独自のマニュアルを策定していることを確認した。各学校のマニュアルは一貫性のある内容にするため、法人・大学のマニュアルを参考に、更新依頼を進めている。また、各学校のマニュアルは、担当教員が作成しているため、教員間でのみの共有に留まっている状況が判明した。教職員間で情報共有を行い、発災時には速やかに協力体制を構築できるよう、各学校へ依頼する。
令和6年度 (2024年度)	戸山キャンパス及び四谷キャンパスにおける消防計画の内容を確認し、必要に応じて計画の修正案を作成する。各学校における独自のマニュアルの策定状況など、情報収集をし、各学校の計画と齟齬が生じないよう、一貫性のある内容とすることに留意し、適宜各学校にも計画の見直しを依頼する。	
令和7年度 (2025年度)		
令和8年度 (2026年度)		
令和9年度 (2027年度)		